

《実習科目 実習科目》

| | | | | | |
|---------------------------|---|-------|------|----------|-------|
| 科目名 | 教育実習事前・事後指導（中） | | | | |
| 担当者氏名 | 植原 和彦、山本 元子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 1・選択 | 開講年次・開講期 | 3年・秋期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎ 実習-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 実習-4 発達の深い理解 ○ 実習-5 指導・保育の専門性 | | | | |

《授業の概要》

教育実習の意義、内容について講義を行う。また、授業実践のための指導案の作成や生徒指導、学級経営の在り方などの基本的な事項の習得を課題とするとともに、実習の手順などを指導する。本講義は、教職入門や英語科教育法などの学習の集大成であり、教育自習の事前準備となる。
 キーワード：教育自習の手順・指導案の作成・生徒指導・学級経営・教育実習日誌。

《授業の到達目標》

①知識・理解：教育自習の意義や実施内容を理解する。また、英語科の教科指導や生徒指導、学級経営の基礎的事項を理解する。②思考判断：実践に向けて、授業のねらいを踏まえ指導案の構想をたてることができる。③関心意欲・態度：教育実習に取り組むため、英語科教育、生徒指導、学級経営の基本事項に取り組む。④技能・表現：授業実践に向けて、授業のねらいを達成するための指導案を作成することができる。

《成績評価の方法》

①知識・理解：論述式レポート、20% ②思考判断：口頭発表・論述20%
 ③関心・意欲・態度：研究プロセスと口頭発表20% ④技能表現：英語科指導案と口頭発表25%
 その他として、出席日数及び授業態度を15%加味する。

《テキスト》

教育実習の手引き
 子ども理解と支援アプローチ（事例集） 大阪教育図書

《参考図書》

適宜、授業内で指示をおこなう。

《授業時間外学習》

時間外課題として、英語、道徳等々の指導案作成と授業の組み立て、教材づくり。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は幼稚園・小学校・中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容 |
|----|-----------------|--------------------------|
| 1 | オリエンテーション | 教育実とは |
| 2 | 教育実習の実際① | 勤務についての心得について |
| 3 | 教育実習の実際② | 事前訪問と実習ノートの記入方法 |
| 4 | 教育実習の実際③ | 実習生の一日、評価の意義 |
| 5 | 教育実習実際③ | 子ども理解と支援① |
| 6 | 教育実習の実際④ | 子ども理解と支援② |
| 7 | 教育実習における授業研究 | 授業研究の意義と目的 |
| 8 | 教科指導① | 英語科の指導方法 |
| 9 | 教科指導② | 英語科指導案作成 |
| 10 | 教科指導③ | 英語の授業研究① |
| 11 | 教科指導③ | 英語の授業研究② |
| 12 | 教科指導③ | 英語の授業研究③ |
| 13 | 領域、時間、特別の教科の指導① | 総合的な学習の時間、特活、特別の教科道徳の指導法 |
| 14 | 事後指導 | 実習体験報告等 |
| 15 | 評価とまとめ | 自己評価とその課題 |